

地域おこし協力隊が中学生へ『夢』を伝える

1月17日（火）、地域おこし協力隊として活動している山本創太さんが大崎中学校の全校生徒に特別講話を行いました。

初めに、『地域おこし協力隊』としての活動紹介を行い、その後自身が考える『夢』について話しました。

山本さんは、「やりたいことは宣言すること。口に出すことでエネルギーが湧きます。だからこそ夢や目標は声に出してみよう。」と話し、生徒らは真剣なまなざしで聞いていました。



▲実体験を基に話す山本さん

陸上聖地プロデューサーが指導



▲青空の下でいきいきと走る原口さんと児童ら

1月17日（火）、『陸上競技の聖地』創造プロデューサーとして活動している原口幸一さんが、大崎小学校の児童5・6年生112名に対し陸上指導を行いました。

これは、同月27日に開催された持久走大会に向けたもので、走りのポイントである『腕の振り方』『歩幅の大きさ』『姿勢の大切さ』などを指導しました。また、原口さんは「下半身を鍛えることも大切だよ。」と話し、バランス感覚を養うトレーニングも行いました。

地域をみんなで盛り上げよう！

1月27日（金）、野方改善センターにおいて、県が進める『地域コミュニティづくり重点推進モデル事業』に取り組んでいる野方公民分館が、『地域づくり計画』について話し合いました。

平成26年度から始まった本事業は最終段階に入っており、各グループは、数か月以内に実行する短期計画、中期計画（1～2年以内）、長期計画（3～5年以内）について、内容の再確認を行いました。3月には計画書の発表を予定しているとのこと。



▲地元を活性化させるための活発な議論が行われました